

改善実践事例【株式会社レデイ薬局】

マニュアルNo. 3
計画的な業務割当による人時生産性向上

企業プロフィール

- 会社名 : 株式会社レデイ薬局
- URL : <http://www.lady-drug.co.jp/index.shtml>
- 業種・業務内容 : ドラッグストアチェーン
- 本社所在地 : 愛媛県
- 従業員数 : 656名（平成22年3月31日現在）

取り組み背景

地方にも中央の大型チェーンが進出してきており、競争が激化してきている。
地方の企業が生き残るためには効率化しなければならないが、多くの従業員は、“現状が普通”だと考えていて、最大限やっていると考えている状況であった。

取り組み目的

前述のとおり、多くの従業員は、現状に対する問題意識が低い状況であった。
しかしムダな業務は必ずあるので、それに気づかせたい、そして改善したいというトップのおもいがあった。
また、ムダを削減した分を賞与や研修にあてることで、効率化は会社にメリットがあるだけでなく、従業員にもメリットがあることを理解してもらうことが目的であった。

取り組み概要

業務実施に必要な人時（人数×時間）にもとづいて人別・時間帯別に作業計画を立案し、その計画に近づける改善取り組みを行うことで、業務の効率化を行う。

取り組み内容

1. 店舗作業でボリュームの多い2つの業務を選定。
 - (1) 荷受→品だし→補充
 - (2) レジ作業
2. 2つの業務に要する時間を測定。
3. 測定結果をもとに、それぞれの業務に要する標準時間を算出。
4. 標準時間をもとに、日別・時間帯別・作業別に必要人時(人数×時間)を算出。
5. 4をもとに人別に15分単位で作業指示表を作成して実践。
6. 計画作成や計画通り実践するために必要な改善の研修も同時に実施。
 - (1) リーダークラスには作業時間測定も体験しもらうことで意識付け。
 - (2) 品だしをスムーズにするために、品だし頻度の高いものを倉庫の入口近くに置く、などの改善も実施。
 - (3) 定着のために実績を記入するシートを作成し、スタッフ間の連絡ノート機能を合わせて活用。
7. 結果(進捗)指標としては、総労働時間の推移を検証。

<倉庫改善結果>



<作業指示表>



成果

- 人件費8%~14%の削減(1年間の取り組み)。